

一般社団法人こどものための音環境デザイン Acoustic Design for Children (ADC)

2020年度事業報告書

2020年 3月 3日 から 2021年 2月 28日まで

1. 事業の成果概要

本年度は、本法人のスタートアップとして、ホームページ、SNS ページの開設、アドバイザー・ボードの組織、サポート・協働メンバーとの連携など組織体制の構築、事業実施にかかる助成金への応募、及び「情報発信・共有」「音環境づくり支援」を中心とした事業を始動し、こどものための音環境づくり活動推進への土台を築いた。

コロナ禍での情報発信事業として、サポート・協働メンバーである(一社)園 Power 主催オンラインセミナーへの招待講演をきっかけに、オンラインセミナー活動を始動した。ADC 主催セミナー「こどものおと」は9月～2月に全5回実施し、子ども施設、建築関係者、行政、保護者、その他多様な立場からの参加があり、音環境の重要性に関する意識の波及効果と社会実装に向けての手がかりを得ることができた。特に配慮が必要なこどものための音環境については、社会的ニーズの高さ、切実さが捉えられ、音環境づくり事例で紹介された吸音グッズの普及に向けての活動にも着手した。

音環境づくり支援事業では、モニター園の協力を受け、ワークショップ、音響設計コンサルティング等の長期的な支援を行い、音環境づくり支援方法への具体的手がかりを得ることができた。施設環境の改善と共に、音の重要性を現場保育者らが認識する手がかりも必要との所感を生かし、今後は「環境と人とでつくる音環境」を目指したメニュー化に取り組む。

また、(公財)建築技術教育普及センターの助成を受け、音の重要性を体感できる動画・ガイドブック等の教材コンテンツを制作した。制作した動画・ガイドブックはホームページにて一般公開を行う予定であり、準備を進めている。

上記全国を対象とした活動に加えて、理事の拠点である浜松地域での活動も始動した。こども施設、子育て支援団体、建築・音響等の企業との連携を構築し、地域視点での取り組み体制に向け今後さらに実践を進める予定である。

本年度は以上を実施し、ADC 事業、実施体制、方向性についての進展が得られた。今後は本年度の

成果を精査し、情報発信の強化と各事業の実務化に向け取り組む予定である。

2. 事業報告

事業の5つの柱である「情報発信・共有」「音環境づくり支援」「人材育成」「優良施設認証」「調査・研究」のうち特に「情報発信・共有」「音環境づくり支援」を中心に実践した。

2.1 情報発信・共有

(1) オンラインセミナー（2020.7～）

イベント開催方法

Peatix サイトにてイベントページを開設・Zoom ライブ配信・後日動画配信

集客方法

関連団体・個人へのメール配信、Facebook（ADC ページ・広告機能の活用）、その他（チラシの配布等）

① ADC 主催セミナー

■ オンラインセミナー こどものおと（計5回開催）

- ・#1（2020/9/26, 28） [話題提供] ADC [協力](一社)園 Power
『子ども施設の音環境デザイン～居心地の良い音環境とは～』
- ・《導入編》（2020/11/14） [話題提供] ADC
『こどものための音環境デザイン - 穏やかで和やかな環境が豊かな心を育む -』
- ・#2（2020/12/12） [話題提供] 川井敬二氏（熊本大学）
『こどものための建築音響設計 - 静けさや響きの規準と音環境設計の実際を学ぶ -』
- ・《緊急企画》（2021/1/20） [話題提供] 田中稲子氏（横浜国立大学）
『保育園の空気環境と換気 - あなたの園は大丈夫？ -』
- ・#3（2021/2/1） [話題提供] 上野佳奈子氏（明治大学）
『配慮が必要な子どもたちと音環境 - 落ち着いた生活を支える音環境づくりに向けて -』

② 共催セミナー

- あそびーBA NAGOYA & ADC（2021/2/4） [話題提供] ADC
『音環境に気付くと保育が変わる』 あそびーBA NAGOYA（2/4）

③ ADC 参加イベント

- [主催](一社)園 Power 【子ども環境ラボ vol.5】 (オンラインセミナー) (2020/7/30)
[話題提供] ADC 『子ども施設の音環境デザイン～居心地の良い音環境とは～』
- [主催]同志社大学赤ちゃん学研究センター・保育施設の室内音環境改善協議会
【保育施設の音環境講座】 (オンライン学会) (2020/9/30)

(2) 園内研修 (オンライン・現地)

- 東京都 O 保育園 [音環境づくり支援モニター園]
2020/8/5 : 現地
2020/10/2 : オンライン
- 神奈川県 R 保育園 [横浜国立大学の地域連携活動と共に]
2020/12/1 : オンライン
『音環境調査 & アンケート結果に基づく報告・研修会
音の環境から、保育を考えてみよう』

(3) 教材コンテンツ制作 : (公財) 建築技術教育普及センター助成を受け実施 (2021 年 3 月末納品)

■ 音環境講習のための動画コンテンツ制作

A. 解説 : 「こども施設の音環境設計」

子ども施設の音環境の現状と、2020 年 6 月に日本建築学会より発刊された「学校施設の音環境保全規準・設計指針」に示された保育空間の音響性能推奨値、就学前児や支援が必要な児童のための設計についての指針の解説動画

B. 体感 : 「響きの違いを知ろう」「静か・にぎやかなの違いを知ろう」

音響設計の効果を体感的に学ぶ教材。音響設計の有無による言葉の聞き取り、音の聞こえの違いを体感するコンテンツ動画

C. 診断 : 「音の大きさを測ってみよう」「響きの状態を確かめてみよう」

音環境簡易診断方法の解説動画

■ パンフレット型教材の作成 : 「保育現場のための建築音響設計ガイド」

2.2 音環境づくり支援

(1) 保育現場の音環境づくり (2020.6～)

- 東京都 O 保育園 [音環境づくり支援モニター園]
コーディネーター・佐藤将之氏 (早稲田大学)

実施内容

- ①音環境チェック オンライン 6 月
- ②園内研修 (ワークショップ) 現地 8 月・オンライン 10 月

→③音環境づくり実践

[吸音材を用いたコーナー作り] 11月（現場職員ら）連続長繊維不織布（M社）・ポリエステル製多孔質吸音材（F社）を使用

[保育室の音響改修] 3月 DIY（T社吸音材） & 業者施工（岩綿吸音板）

※各フェーズ前後で施設長らとの打合せや音響改修業者とのマッチング・顔合わせ等を実施

→④まとめ・ふりかえり 3月～（予定）

(2) 吸音グッズ制作（2020.12～）

こどものおと#3「配慮が必要な子どもたちと音環境」を経て、明治大学建築環境計画研究室・上野佳奈子氏との協働で、室内の落ち着ける居場所づくりに向け、リラクソボックス等の吸音グッズの制作・販売に向け始動した。

2.3 調査・研究

M株式会社と音質評価の技術開発に関する共同研究を実施した。

2.4 その他

(1) 助成金への応募（2020.6～）

民間助成金4件へ応募、うち1件採択

■ 建築技術教育普及センター普及事業助成（6月）

『子ども施設の音環境保全規準・設計指針の普及活動事業-教材作成と講習会の開催-』

(2) 浜松市域での活動（2020.11～）

地域を巻き込んだ活動の展開に向け、子ども施設、子育て支援団体、音響関連メーカー、設計工務店などとの連携体制構築を始動した。

3. その他事業の実施に関する事項

3.1 臨時社員総会・理事会の開催

法人の業務施行のため、臨時社員総会及び理事会を開催した。

・2020/8/22 オンライン会議

3.2 アドバイザリー・ボード会議等の開催

法人の円滑な業務施行のための意見を得るため、アドバイザリー・ボード会議を開催した。

・2020/7/15 オンライン会議

- ・ 2020/12/5 メール活動報告
- ・ 2020/12/17 メール活動相談

3.3 ホームページ・SNS ページ制作

情報発信のために、ホームページを開設した。Facebook ページも開設し、Web での情報発信、問合せ受け入れ体制を整えた。